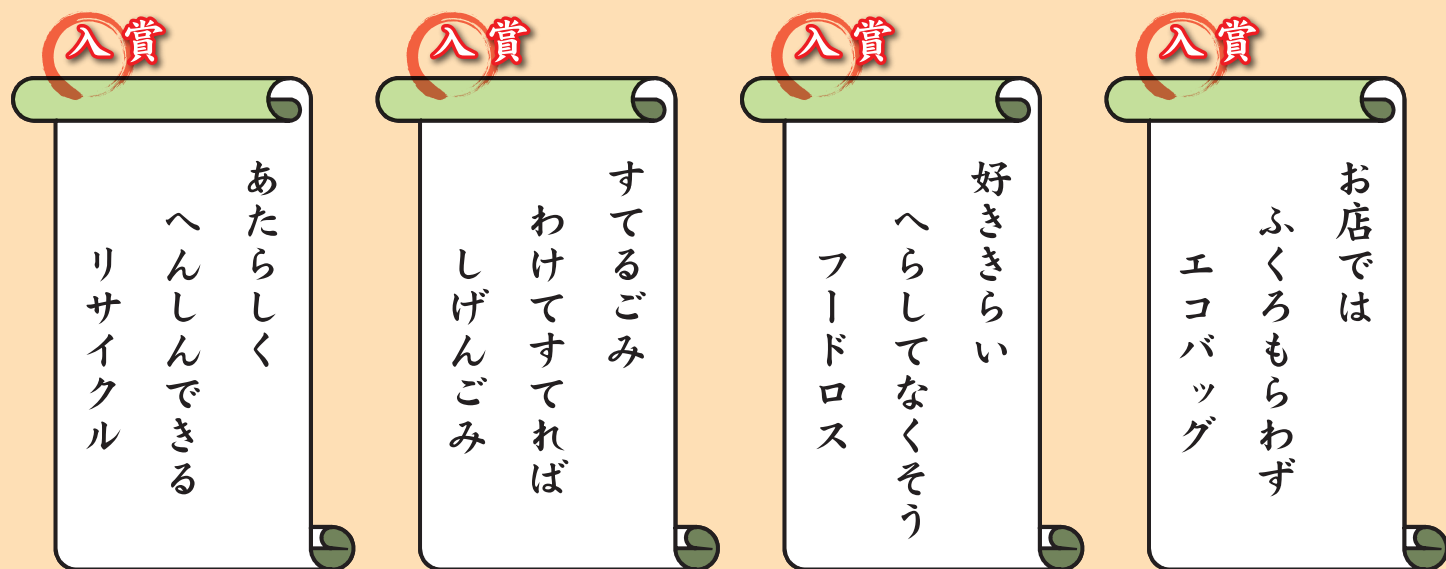


「ごみ減量に関する標語」入賞作品の発表

廃棄物減量等推進審議会及び一般投票による審査の結果、以下の作品が入賞しました。
入賞された方には後日記念品をお送りさせていただきます。
この度はご応募、ご投票いただきありがとうございました。



市民提案型ごみ減量活動等補助金 申請受付中

ごみの減量や再資源化につながる活動に対し、補助金を交付しています。
※補助金の交付には、審議会による審査があります。申請希望の方は、
環境課へお問合せください。

〔応募締切〕
6月14日(金)

上限額**30**万円
(特例有)

上限額**10**万円

定額**3**千円／月
所定の協定を締結した1世帯あたり

先進的ごみ減量モデル

市全域への展開や、民間事業者を巻き込んだ取り組みのモデルとなる、ごみ減量や再資源化に向けた活動。

地域内ごみ減量等活動

自治会や地域の住民団体が、分別の徹底やリユースなどにより地域内のごみの減量を目指す継続的な活動。

地域型ふれあい収集

拠点収集の地域で、ごみ出しが困難な世帯と自治会等が助け合ってごみ出しを支援する活動。

ごみ減量の活動を
やってみたいけど、
資金どうしよう…。

こういう取り組みを
したら、ごみが減らせるん
じゃないかな…？



令和5年4月～令和6年1月までの一日1人あたりの可燃ごみ排出量は、平均すると**397.2g**
令和7年度の目標数値 (**326g**) まで
あと**71.2g**です！

©木津川市

医療用廃棄物の処分にご注意ください!

在宅医療で使用される、腹膜透析用廃液バッグや自動腹膜透析用バッグ・チューブ、ストマ装具等は家庭系可燃ごみとして回収を行っています。これら対象の在宅医療廃棄物については、市販の透明または白色半透明の袋でお出しいただくことができますので、可燃ごみの収集日にお出しください。

上記回収可能な医療用廃棄物とは別に、注射針を含む器具が、燃やさないごみやビニール・プラスチック容器包装に混入している事例が発生しています。

注射針や点滴針、またこれらを含むものについては医療機関や薬局へ返却してください。

燃やさないごみやビニール・プラスチック容器包装は、回収後手作業での処理を行っています。作業員の怪我にも繋がるため、**市の収集するごみには絶対に入れないでください。**

注射針や点滴針、
またこれらを含む
ものについては
医療機関や薬局へ
返却してください。



実際にごみ袋に混入していた注射針

廃棄物減量等推進審議会公募委員を募集します

現公募委員の任期満了に伴い、一般廃棄物(ご家庭等からのごみ)の減量などについて審議を行う「廃棄物減量等推進審議会」の公募委員を募集します。

■**任期**／令和6年5月～令和8年3月(見込)

■**選考**／応募者多数の場合、選考により決定します。

■**報酬**／市条例・規則に基づいて支払います。

■**募集人数**／3人以内

■**対象**／市内にお住まいで次の全てに該当する満18歳以上(平成18年5月1日以前生まれ)の方

①審議会の会議に出席できる(年間で、平日の日中5日程度)。

②本市の他の審議会などの委員を3つ以上兼務していない。

③過去に本審議会の公募委員になっていない。

④本市の市議会議員、常勤の職員でない。

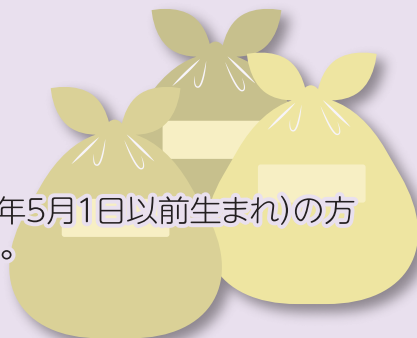
※審議会の会議は原則公開で、委員氏名も公表されます。

■**応募期間**／4月8日(月)～4月30日(火・必着)に、所定の応募用紙に必要事項を記入し、直接または郵送、電子メールで環境課(本頁下部 問い合わせ先参照)へ

■**その他**

・所定の応募用紙は、市役所2階環境課、加茂・山城支所にあるほか、市ホームページ(右 二次元コード)からダウンロードできます。

・詳しくは、所定の応募用紙とあわせて配布する募集要項をご覧ください。



【令和6年4月発行】

〈問い合わせ先〉〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9 木津川市役所 市民環境部 環境課
TEL:0774-75-1215(ダイヤルイン) FAX:0774-72-3900 Mail:machibika@city.kizugawa.lg.jp

※この「MOTTAINAI便り」は、循環型社会推進事業の一環として、ごみの「減量」・「再資源化」につながる身近な情報などを隔月で市民の皆さんにお知らせする情報紙です。不要になりましたら、「雑がみ」として古紙回収にお出しいただき、リサイクルにご協力くださいますようお願いいたします。